



いずみこども園だより

いずみこども園
ホームページ
QRコード



令和6年5月31日
千代田区立いずみこども園
園長 穴原江美

【教育目標】 元気な子ども やさしい子ども ☆考える子ども

伝統を大切に

幼児部副園長 佐藤 まゆみ

梅雨入りを前に、木々の緑がいつそう深まってきました。校庭の紫陽花も鮮やかに色づき始めました。

4月に入園、進級してから2か月が経ち、どのクラスも新しい環境に慣れてきました。玄関では、毎朝ゆり組あいさつ隊の「おはようございます」の音が響き渡っています。また、お休み調べ（出欠の確認）の仕事も日に日に上手になっています。現1年生からプレゼントされた「あいさつたい」や「おやすみしらべ」と書かれたロゼットを胸に着けて、誇らしげに張り切っています。

ばら組は、大型積み木で大きな家作りを楽しんだり、制作でもおそろいのものを作ったり、友達と一緒にとっても楽しい様子です。初めて集団生活を経験するもも組短時間の子どもたちも給食が始まりました。帰りに職員室に、「さようなら」と挨拶をするときに、「きゅうしょく おいしかった」「ぜんぶ たべたよ」と嬉しそうに話しています。

乳児クラスでは、毎朝、人数確認に保育室を訪ねると、人見知りをされて泣かれることがありましたが、最近は、タッチを求められたり、用事が済んで戻ろうとすると、バイバイと見えなくなるまで手を振ってくれたりするなど、子どもの成長と、嬉しいひとときを感じています。

今年は、神田祭は陰の年ですが、神田和泉町会では、かげ祭りが行われました。

御霊入れを拝見しましたが、神田明神の神主さんが祝詞を奏上して、一帯が神聖な空気に包まれ、お神輿に神様が鎮まれたと感じる瞬間があります。こういう伝統を本当に大切にしていることを実感しました。そして、いずみこども園は伝統を身近に感じ、触れることができる環境に恵まれていると改めて感じました。御霊入れのあとは、神田雷神太鼓が、お神輿の出発・出陣太鼓として披露され、迫力に圧倒されました。こども園の修了児が太鼓を叩いている姿も見ることができました。お神輿に付き添う神田囃子も、毎年、年の初めの始業式の日、獅子舞と一緒に鑑賞させていただいています。

本園では、特色ある教育活動としてゆり組が神田雷神太鼓の指導を受けています。先日、1回目が行われました。ばちの持ち方や太鼓を叩く姿勢など基本的なことを教わりました。太鼓の音が、4階の体育館から1階の職員室まで響いていました。3月には、『神田雷神太鼓発表会』として取組の成果を披露する予定です。伝統に触れて実際に体験できることは、素晴らしいことだと思います。そして、ぜひ、引き継いでいってほしいと願っています。



《 今月のねらい 》

